令和６年度
社会福祉法人南三陸町社会福祉協議会
事 業 報 告 書

（理事会：令和７年６月４日）
（評議員会：令和７年６月 20 日）

社会福祉法人南三陸町社会福祉協議会

社会福祉法人南三陸町社会福祉協議会　令和６年度事業報告

1．事業総括

第２期地域福祉活動計画を策定し、被災者支援から平時の地域福祉へのフェーズを迎えた令和６年度は復興交付金事業の最終年度。これまでも住民の声を聴きながら、安心して暮らし続けるためのあらゆる方策と事業を展開してきたが、その集大成として、10 月 25 日～26 日には全国から 350 人の関係者を招き、「小さな社協のこだわりフォーラム」を開催することが出来た。全国各地で起こりうる未曽有の自然災害に対し、「日頃のつながり」や「備え」が防災への一歩であり、住民が平時から意識することや、有事の際には、地域住民が一番の担い手になることをこれまでの活動を振り返り発信することが出来た事業となった。

また、本会の収入の源となる介護保険事業に関しては、利用者の伸び悩みが結果として昨年度予算比△1,500 万円となったことも併せ、経営上の対策強化や町との補助金・委託金関係についても今後の検討課題として引き続き取り組んでいきたい。

① 法人運営事業

近年では、大きな財源の一つである会費について、町民各位のご理解の下 95%を超える納入率となっており、広く住民に本会の存在意義を知って頂いたことへの成果だと感じている。今後もアウトリーチを基本に広報等のツールを活用し年代や属性を問わない社協活動を発信していきたい。

また、法人内外での研修を企画し参加したことで、職員個々のスキルアップや資格取得の後押しを図りながら全体の意識を高めることができた。

（社会福祉主事任用資格 2 名）

※アウトリーチとは、自発的に出向いて活動すること。

② 地域福祉事業

結の里運営協議会や 3 本柱(イベント・みんな食堂・カフェ)を中心に、住民による実行委員会が事業を計画し実践することができた。何れも住民の視点による活動であり、社協として伴走し地域住民のエンパワメントを助長することができた。

また、孤立しがちな住民へのサポートや地域での活動助成、復興住宅での見守り支援、デマンド交通事業、戸倉交流センター事業から見える暮らしの課題などを全体で共有しその解決に向けて取り組むことができた。

※エンパワメントとは、自己決定力をもてるよう支援すること。

③ 介護福祉事業

居宅介護支援事業所、訪問介護事業所、3 つの通所介護事業所が本会の介護保険事業であり、介護保険制度の法律のもと、利用する方やそのご家族が安心して身体機能の回復や心の癒しが図れるよう職員が一丸となって事業に取り組んだ。

今年度はほっとバンクを含む地域の住民(ボランティア)を積極的に受入れ、利用者との交流、コミュニケーションを図り有意義な活動が実践できた。

引き続き利用者やご家族、関係機関との連携を図りながら安全な運営に努めたい。

２．主な取り組み

①職場環境の整備

（１）研修環境の充実を図り、職員の意欲向上及び定着、スキルアップに努めた。

（２）職員が業務に従事しながら勤務の一部として、資格取得に必要な研修等を受講出来るなど資格取得支援を実施し、人材確保・育成及び定着を図った。

（３）意見箱等の活用を周知し、職員が発言しやすい環境づくりに努めた。

（４）職員個別面談を実施した。

（５）定期的な感染症予防対策の再確認及び周知、事業継続ガイドラインによる平時からの備えや感染症発生時の初動対応、感染拡大防止対策等まで、全職員が迷いなく行動できる体制を整え、感染防止に努めた。

（６）健康診断やコミュニケーション研修を実施し、心と体の健康維持に努めた。また、インフルエンザ予防接種への助成を実施した。

②組織体制及び運営基盤の強化

（１）課長会議の定期開催

各事業の運営状況の把握や細部調整等を行った。

（２）地域福祉会議の定期開催

各事業の運営状況、現状把握・情報共有を図り、効率的かつ効果的な事業運営の基盤づくり及び強化に努めた。

（３）介護保険事業・管理者会議の定期開催

各事業所との情報交換及び共有を図り、質の向上と効率的な運営に努めた。

（４）地域福祉事業・月例総括会議の定期開催

現状及び経過報告による情報共有及び方向性の確認、課題解決に努めた。

（５）諸規程の制定や一部改正を行い、組織運営の整理、基盤強化を図った。

（６）介護保険事業従事者は処遇改善加算交付金を財源に毎月の手当を増額するなど職員の労働意欲向上並びに処遇改善を図った。

③地域支え合い活動の推進

（１）結の里を拠点に結の里運営協議会が中心となり、属性に寄らない世代間交流やコミュニティづくりの推進を図った。

（２）持続可能な人づくり関係づくりが実現できるよう、近隣による見守りや支え合い活動を推進した。

④ボランティア活動の推進

（１）共にささえあう地域づくりを推進するため、ほっとバンク（登録者225人）、ほっとバンク協力店（64店舗）、民生委員・児童委員、町内会などの自治会組織、福祉関係機関、団体等と積極的に連携・協働して地域福祉活動を展開した。

（２）地域住民自らがボランティア活動に参加する機会の創出を作り、子どもから高齢者まで「自分に出来る事」でボランティア精神の醸成を図った。

３．重点事業取り組み

３－１　法人運営事業　総務課総務係

事業全体の経営資源を適切に管理、総合的かつ計画的な事業執行を行うため経営基盤の充実を図り、組織管理と事業運営の基盤づくりに努めた。

社会福祉法人として、運営の透明性と中立性、公平さの確保を図るとともに事業展開にあっては住民主体、住民参加をその基本とし取り組んだ。

（１）理事会開催状況

第１回理事会	日　時	令和６年６月７日（金曜日）午後１時 28 分～午後３時 05 分
	場　所	総合ケアセンター南三陸　２階　多目的室
	内　容	報告１号：会長の専決事項 報告２号：会長の業務報告 承認１号：令和５年度事業報告 承認２号：令和５年度一般会計収入支出決算 議案１号：令和６年度一般会計収入支出補正予算 議案２号：臨時及びパート雇用職員就業規程の一部改正 議案３号：嘱託職員就業規程の一部改正 議案４号：寄附感謝状贈呈要綱 議案５号：文書の保管及び保存に関する規程の廃止 議案６号：文書取扱規程制定 議案７号：第１回評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定
	理　事	出席：７名　　欠席：１
	監　事	出席：２名　　欠席：０
第２回理事会	日　時	令和６年６月 25 日（火曜日）午後３時 00 分～午後３時 25 分
	場　所	総合ケアセンター南三陸　２階　大会議室
	内　容	議案１号：評議員選任・解任委員会の委員の選任 議案２号：会議に関する規程の一部改正 議案３号：職員衛生管理規程の一部改正 議案４号：生活安定資金貸付規程の一部改正
	理　事	出席：８名　　欠席：０
	監　事	出席：２名　　欠席：０
第３回理事会	日　時	令和６年９月 18 日（水曜日）午前９時 58 分～午前 10 時 25 分
	場　所	総合ケアセンター南三陸　２階　多目的室
	内　容	報告１号：会長の専決事項 報告２号：会長の業務報告 議案１号：臨時及びパート雇用職員就業規程の一部改正 議案２号：嘱託職員就業規程の一部改正
	理　事	出席：８名　　欠席：０
	監　事	出席：１名　　欠席：１

第 4 回 理事会	日　時	令和 7 年 3 月 12 日（水曜日）午後 1 時 31 分～午後 3 時 35 分
	場　所	総合ケアセンター南三陸　2 階　多目的室
	内　容	報告 1 号：会長の専決事項 報告 2 号：会長の業務報告 報告 3 号：監督官庁が実施した検査結果 議案 1 号:役員等賠償責任保険契約締結 議案 2 号：経理規程の一部改正 議案 3 号：事務局組織規程の一部改正 議案 4 号：ハラスメント防止及び対応規程の一部改正 議案 5 号:虐待防止対応規程の一部改正 議案 6 号:うたつ指定通所介護事業運営規程の一部改正 議案 7 号:いりや地域密着型通所介護事業運営規程の一部改正 議案 8 号:しづがわ指定通所介護事業運営規程の一部改正 議案 9 号:災害公営住宅被災者見守り・相談支援事業の受託 議案 10 号:被災地域コミュニティ活性化支援事業の受託 議案 11 号:事務局長の任命 議案 12 号:令和６年度一般会計収入支出補正予算 議案 13 号:令和７年度事業計画 議案 14 号:令和７年度一般会計収入支出予算 議案 15 号:第 2 回評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定
	理　事	出席：８名　　欠席：０
	監　事	出席：２名　　欠席：０

（2）評議員会開催状況

第 1 回 評議員会	日　時	令和 6 年 6 月 25 日（火曜日）午後 1 時 30 分～午後 2 時 43 分
	場　所	総合ケアセンター南三陸　2 階　大会議室
	内　容	承認 1 号：令和 5 年度事業報告 承認 2 号：令和 5 年度一般会計収入支出決算 議案 1 号：令和 6 年度一般会計収入支出補正予算
	評議員	出席：１４名　　欠席：２名
	監　事	出席：　２名　　欠席：０
第 2 回 評議員会	日　時	令和 6 年 3 月 26 日（水曜日）午後 1 時 32 分～午後 2 時 38 分
	場　所	総合ケアセンター南三陸　2 階　大会議室
	内　容	議案 1 号：令和 6 年度一般会計収入支出補正予算 議案 2 号：令和 7 年度事業計画 議案 3 号：令和 7 年度一般会計収入支出予算
	評議員	出席：１２名　　欠席：４名

（3）監査会開催状況

第1回 監査会	日時	令和6年5月27日（月曜日）午前10時00分～午前11時40分
	場所	総合ケアセンター南三陸　2階　多目的室
	内容	令和5年度事業報告について 令和5年度一般会計収入支出決算について
	理　事	出席：1名
	監　事	出席：2名　　欠席：0

（4）月別事業

4月内容		場　　所
1	辞令交付式	総合ケアセンター多目的室
2	声の広報	志津川東復興住宅第2集会所
3	地域福祉活動計画ミーティング	結の里
	職員面接	老人福祉センター
5	介護保険法改正処遇改善説明会	気仙沼保健福祉事務所
11	正職員会議	志津川東復興住宅第2集会所
15	住友理工㈱来所	結の里
16	第1回広報委員会	志津川東復興住宅第2集会所
	日常生活自立支援事業　新規採用者辞令交付2名 生活支援員新規採用者オリエンテーション	総合ケアセンター多目的室
17	南三陸町民生委員児童委員協議会総会	総合ケアセンター大会議室
	地域福祉会議	志津川東復興住宅第2集会所
19	介護福祉管理者会議	老人福祉センター
22	第1回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第2集会所
24	南三陸町老人クラブ連合会役員会	総合ケアセンター多目的室
25	愛の手をつなぐ親の会役員会	総合ケアセンター多目的室
30	新任職員研修会（4名）	総合ケアセンター多目的室
	南三陸町行政区長会議	歌津総合支所

5月内容		場　　所
1	声の広報	志津川東復興住宅第2集会所
14	公認会計士 岡原宏一先生来所：会計指導　～15日	事務局
15	戸倉ぐるぐるカフェ	戸倉交流センター
16	職員面談	総合ケアセンター多目的室
17	介護福祉課管理者会議	老人福祉センター
	小さな社協のこだわりフォーラムオンラインミーティング	事務局
22	南三陸町身体障害者福祉協会監事会	総合ケアセンター多目的室
	南三陸町身体障害者福祉協会総会	

	第2回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第2集会所
23	南三陸町遺族会監事会	総合ケアセンター多目的室
	南三陸町遺族会総会	
27	社協第1回監査会	総合ケアセンター多目的室
	県共同募金会南三陸町共同募金委員会第1回監査会	
28	愛の手をつなぐ親の会監事会	総合ケアセンター多目的室
	愛の手をつなぐ親の会総会	
30	課長会議	総合ケアセンター多目的室
31	南三陸町老人クラブ連合会監事会	総合ケアセンター多目的室
	南三陸町老人クラブ連合会総会	

6月内容		場　　所
4	声の広報	志津川東復興住宅第2集会所
7	社協第1回理事会	総合ケアセンター多目的室
	南三陸町共同募金委員会第1回運営委員会	
13	地域福祉会議	志津川東復興住宅第2集会所
14	生活支援担い手養成講座	ベイサイドアリーナ文化ホール
18	第1回福祉健康まつり実行委員会	結の里（オンライン）
20	第3回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第2集会所
21	復興祈念公園草刈り①	復興祈念公園
	介護福祉課管理者会議	老人福祉センター
25	社協第1回評議員会	総合ケアセンター大会議室
	社協第2回理事会	
26	宮城県災害時情報伝達訓練	事務局（オンライン）
	南三陸町暮らしとコミュニティ推進部会	総合ケアセンター大会議室
27	課長会議	総合ケアセンター多目的室
28	辞令交付（退職1名）	事務局

7月内容		場　　所
2	声の広報	志津川東復興住宅第2集会所
	災害支援連絡会議	仙台市
8	宮城県災害ボランティアオリエンテーション	結の里（オンライン）
	気仙沼地域災害保健医療福祉連絡会議	気仙沼市
10	キャップハンディ体験会	歌津中学校3学年
12	珠洲市災害ボランティア派遣（7/12～18）１名	石川県珠洲市
17	第4回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第２集会所
18	第2回福祉健康まつり実行員会	結の里（オンライン）
19	令和6年度職員健康診断打ち合わせ	事務局

	戸倉交流センター草刈り	戸倉交流センター
	介護福祉課管理者会議	老人福祉センター
22	第２回広報委員会	志津川東復興住宅第２集会所
	課長会議	総合ケアセンター多目的室
23	小さな社協のこだわりフォーラム打ち合わせ	結の里
24	地域の掘り出し市@南三陸	ベイサイドアリーナ文化ホール
25	市町村共同募金委員会事務局長会議	仙台市
30	日常生活自立支援事業担当者会議	栗原市
31	小さな社協のこだわりフォーラム打ち合わせ	結の里

８月内容		場　　所
1	市区町村社会福祉協議会会長・事務局長会議	仙台市
	結の里夕涼み会	結の里
2	声の広報	志津川東復興住宅第２集会所
5	通所介護事業管理者会議	総合ケアセンター多目的室
6	第１回結の里運営協議会	東松島市社会福祉協議会
19	課長会議	総合ケアセンター多目的室
21	地域福祉会議	志津川東復興住宅第２集会所
22	第１回交通安全対策協議会	南三陸町役場
23	令和６年度南三陸町戦没者追悼式準備	ベイサイドアリーナ文化ホール
	介護福祉課管理者会議	老人福祉センター
24	令和６年度南三陸町戦没者追悼式	ベイサイドアリーナ文化ホール
28	総合的な学習	歌津中学校３年生
29	令和６年度第２回南三陸町行政区長会議 （社協会費依頼・赤い羽根募金説明）	総合ケアセンター大会議室
	安全運転管理者法定講習会	ベイサイドアリーナ
30	日常生活自立支援事業利用調査同行	依頼人宅

９月内容		場　　所
2	声の広報	志津川東復興住宅第２集会所
3	コミュニティソーシャルワーク実践研修　～4 日	仙台市
	職員面談	志津川東復興住宅第２集会所
	老人クラブグラウンドゴルフ大会打ち合わせ	事務局
5	走らない大運動会	志津川東復興住宅中央広場
	常盤台霊苑慰霊祭	常盤台霊苑
9	未来へつむぐ地域福祉実践セミナー	仙台市

11	老人クラブグラウンドゴルフ大会実行委員会	総合ケアセンター多目的室
12	日常生活自立支援事業に係るモデル事業説明会	仙台市
	職員面談	志津川東復興住宅第２集会所
13	復興祈念公園草刈り	復興祈念公園
	職員面談	志津川東復興住宅第２集会所
18	社協第 3 回理事会	総合ケアセンター多目的室
	令和 6 年度南三陸町社会福祉協議会感染症対策委員会	
	課長会議	
19	第 5 回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第２集会所
24	第 3 回福祉健康まつり実行委員会	結の里（オンライン）
26	老人クラブグラウンドゴルフ大会	松原グラウンド
27	職員面談	志津川東復興住宅第２集会所
30	南三陸町身体障害者福祉協会移動研修会	岩手・気仙沼大島方面

１０月内容		場　　所
1	赤い羽根共同募金依頼	69 行政区長宅
	声の広報	志津川東復興住宅第２集会所
4	職員健康診断	老人福祉センター
	福祉健康まつり会場準備	ベイサイドアリーナ
5	福祉健康まつり	ベイサイドアリーナ
10	正職員会議	総合ケアセンター多目的室
11	南三陸町遺族会護國神社参拝及び移動研修会	宮城県護國神社・秋保方面
	南三陸町民生委員児童委員協議会移動研修会	岩手方面
16	生活福祉資金貸付事業事務担当者会議	仙台市
	地域福祉会議	総合ケアセンター談話室
	小さな社協のこだわりフォーラム打ち合わせ	事務局
17	令和 6 年度社会福祉施設等指導監査	総合ケアセンター多目的室
	老人クラブシニアスポーツ大会	色麻町
23	第 6 回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第２集会所
	職員面談	総合ケアセンター多目的室
25	小さな社協のこだわりフォーラム：1 日目	ベイサイドアリーナ・結の里
	小さな社協のこだわりフォーラム：懇親会	さんさんフードコート
26	小さな社協のこだわりフォーラム：2 日目	ベイサイドアリーナ・結の里
28	課長会議	総合ケアセンター多目的室
29	総合ケアセンター南三陸周辺草刈り作業	総合ケアセンター周辺

１１月内容		場　　所
5	声の広報	志津川東復興住宅第２集会所
	宮城県共同募金会巡回訪問	事務局
6	南三陸町高齢者芸能発表会打ち合わせ	総合ケアセンター多目的室
7	復興祈念公園草刈り	復興祈念公園
	宮城県老人クラブ大会	栗原市
12	第 70 回宮城県社会福祉大会	仙台市サンプラザ
14	南三陸町高齢者芸能発表会	ベイサイドアリーナ文化ホール
15	宮城県社会福祉大会受賞者へ表彰状伝達	受賞区長・評議員宅
18	正職員採用試験（介護支援専門員１名）	総合ケアセンター多目的室
20	第 7 回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第２集会所
22	第 32 回宮城県障害者福祉大会第 2 部演芸大会出場	仙台市
25	志津川通所介護事業運営指導	デイサービスしづがわ
26	課長会議	総合ケアセンター多目的室
	南三陸町障害者自立支援協議会	
27	介護職員面接（1 名）	総合ケアセンター多目的室
28	南三陸町暮らしとコミュニティ推進部会(第 2 回)	総合ケアセンター大会議室
29	日常生活自立支援事業生活支援員研修会	気仙沼市社協本吉支所

１２月内容		場　　所
2	声の広報	志津川東復興住宅第２集会所
3	第 2 回社協職員オンラインサロン	結の里(オンライン)
4	老人クラブ連合会会長事務局合同会議	仙台市
9	正職員採用試験（看護師１名）	総合ケアセンター多目的室
10	手をつなぐ育成会宮城県大会	多賀城市
11	日常生活自立支援事業関連事務担当者研修会	相談室（オンライン）
13	南三陸病院・総合ケアセンター南三陸合同消防訓練	総合ケアセンター
17	課長会議	総合ケアセンター多目的室
19	第 8 回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第２集会所
	職員面談	
23	介護福祉課管理者会議	老人福祉センター
26	南三陸町長・副町長来所	事務局
27	仕事納め：全事業所まわり	各事業所

令和 7 年 1 月内容		場　　所
6	仕事始め：全事業所まわり　　事務局長	各事業所
	南三陸町新年懇談会　会長・事務局長出席	総合ケアセンター大会議室
	令和 7 年歌津地区新春のつどい　会長出席	歌津公民館会議研修室

	声の広報	志津川東復興住宅第２集会所
7	仕事始め：全事業所まわり　　会長・事務局長	結の里
13	令和６年度南三陸町二十歳の輝き式典	ベイサイドアリーナ交流ホール
17	第４回広報委員会	志津川東復興住宅第２集会所
20	交通安全祈願祭	上ノ山八幡宮/古峯神社
	日常生活自立支援事業担当者会議	涌谷町
21	介護福祉課管理者会議	老人福祉センター
22	日常生活自立支援事業判定会議	気仙沼市社会福祉協議会
24	課長会議	総合ケアセンター多目的室
	いきいき百歳体操定例会議	総合ケアセンターいきいきルーム
28	市町村社協事務局長会議	仙台市
30	職員面談	老福センター/入谷デイ
31	職員面談	入谷デイ

令和７年２月内容		場　　所
3	声の広報	志津川東復興住宅第２集会所
	宮城県被災地域コミュニティ活性化支援事業ヒアリング	総合ケアセンター相談室
4	職員面談	志津川デイ/老福センター
7	課長会議	総合ケアセンター多目的室
13	生活安定資金及び生活福祉資金借受世帯に対する相談会	総合ケアセンター相談室
14	正規職員内部登用試験（受験者２名）	総合ケアセンター多目的室
	石川県・石川県内社会福祉協議会視察	結の里
19	第９回社協職員全体研修会	志津川東復興住宅第２集会所
20	介護福祉課管理者会議	老人福祉センター
21	課長会議	総合ケアセンター多目的室

令和７年３月内容		場　　所
1	春季火災予防運動（3/1～7）	全町域
3	声の広報	志津川東復興住宅第２集会所
6	地域共生社会推進研修・ほっとバンク研修会	生涯学習センター
12	社協第４回理事会	総合ケアセンター多目的室
	南三陸町共同募金委員会第２回運営委員会	
17	宮城県災害ケースマネジメント研修	ベイサイドアリーナ文化ホール
18	南三陸町保健福祉総合審議会	総合ケアセンター大会議室
21	課長会議	総合ケアセンター多目的室
26	社協第２回評議員会	総合ケアセンター大会議室
31	辞令交付式	総合ケアセンター多目的室

令和 6 年度社協職員全体研修会　　全 9 回実施　平均参加者 28 名

月　日	研修内容	参加人数	講師等
4 月 18 日	南三陸町社協地域福祉活動計画等	31 名	本会事務局長：三浦真悦
5 月 22 日	倫理及び法令順守	29 名	㈱悠久会認知症型通所介護 認知症介護指導者：熊谷光二氏
6 月 20 日	認知症フォローアップ研修 ～チームで実践するケア～	29 名	㈱悠久会認知症型通所介護 認知症介護指導者：熊谷光二氏
7 月 17 日	感染症・食中毒	25 名	県疾病対策班保健師：秋保優美子氏 食品薬事班技師：姉歯健太郎氏
9 月 19 日	コミュニケーションツール～職場編～	21 名	本会総務課長：髙橋吏佳
10 月 23 日	ハラスメント対策の基本	31 名	㈱悠久会認知症型通所介護 認知症介護指導者：熊谷光二氏
11 月 20 日	身体拘束・虐待防止	27 名	㈱悠久会認知症型通所介護 認知症介護指導者：熊谷光二氏
12 月 19 日	コミュニケーションツール ～利用者・住民編～	28 名	本会総務課長：髙橋吏佳
2 月 19 日	重層的支援体制整備事業について	27 名	県社協共生社会推進課長：武藤哲哉氏 主事：菱沼栞氏・主事：砂澤裕馬氏 本会総務課長：髙橋吏佳

（５）日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

認知症高齢者や知的障害者、精神障害者等のうち判断能力が不十分な方が地域において安心して生活が送れるよう、利用者との契約・支援計画に基づき定期的に訪問し金銭管理や郵便物の確認について支援した。

また、情報交換・共有、現状把握の徹底及び専門員への報告・連絡等を密にし、異変の早期対応に繋げ、利用者の不安軽減・解消に努めた。

●研修実施状況：地域別研修会１回（令和 6 年 11 月 29 日）
●新規利用判定会議：３回　　●生活支援員数　　：９名
●新規利用者数　　：３名　　●解約（異動）者数：５名
●利用者実人数　　：１２名（令和 6 年度：実人数 16 名）

月　別 地区別	４月	５月	６月	７月	８月	９月
志津川（実人数）	８	８	７	７	６	６
歌　津（実人数）	６	５	６	６	６	６
計	１４	１３	１３	１３	１２	１２
（支援延回数）	３４	３５	３０	３４	３１	３０
月　別 地区別	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
志津川（実人数）	６	６	６	６	７	６
歌　津（実人数）	６	６	６	６	６	６
計	１２	１２	１２	１２	１３	１２
（支援延回数）	３７	３４	３０	３１	３０	２９

（６）フードバンク事業（食糧銀行）

生活協同連合会と提携し福祉ニーズ等により、食品を必要としている人に対し提供した。食品の無駄をなくし有効活用することで社会福祉に寄与した。

【実利用人数】１８名（令和６年度１２名）　　（　）内は、前年度

月　別	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月
延べ利用人数	３	３	５	３	９	７	４
月　別	１１月	１２月	１月	２月	３月	合　計	
延べ利用人数	１	８	６	５	２	５６名（４４名）	

（７）南三陸町民生委員児童委員協議会との連携

南三陸町民生委員児童委員と定期的な情報共有、連携を行い、支援を必要とする地域住民が安心した暮らしが営めるよう共に協働した。

（８）生活福祉資金貸付事業

宮城県社会福祉協議会が実施主体となり、低所得世帯や高齢者世帯、障害者世帯の生活を経済的に支えるとともに、各関係機関と情報共有を行いながら貸付を実施。

また、緊急小口資金・総合支援資金の特例貸付の償還に対する不安を持つ世帯について、生活状況や今後の償還計画についての生活相談会を実施した。

●相談・申込状況　　（　　）内は、前年度

月　別	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月
実 人 数	１	０	１	４	７	２	３
相談件数	１	０	４	４	７	２	３
決定件数	０	０	０	０	０	０	１
月　別	１１月	１２月	１月	２月	３月	合　計	
実 人 数	１	１	０	２	０	２２（１３）	
相談件数	１	１	０	２	０	２５（１６）	
決定件数	０	０	０	０	０	１（２）	

●貸付状況　　（　　）内は、前年度

種　別	貸付件数合計	新規貸付	滞納世帯
総合支援資金	９（１２）	０（０）	１（１）
福祉資金	１（０）	１（０）	０（０）
教育支援資金	４（４）	０（１）	０（０）
生活復興支援金	１（１）	０（０）	１（１）
更生資金	２（２）	０（０）	２（２）
更生資金（障害者）	０（１）	０（０）	０（１）
福祉資金（住宅）	１（１）	０（０）	１（１）
緊急小口資金	２４（３３）	０（１）	１４（１６）
合　　計	４２（５４）	１（２）	１９（２２）

（９）生活安定資金貸付事業

低所得者に対し、小口の貸付と必要な援助指導を行い、自立更生と生活安定に寄与することを目的とする貸付制度を実施した。

●相談・申込み状況　　（単位：円）

月　別	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月
相　談	2	0	0	0	0	0	0
申　込	2	0	0	0	0	0	0
決　定	2	0	0	0	0	0	0
貸付額	120,000	0	0	0	0	0	0
償　還	2	1	1	0	1	1	2
償還額	20,000	10,000	5,000	0	5,000	10,000	7,000
月　別	１１月	１２月	１月	２月	３月	合　計	
相　談	0	0	1	0	0	3	
申　込	0	0	1	0	0	3	
決　定	0	0	1	0	0	3	
貸付額	0	0	50,000	0	0	170,000（200,000）	
償　還	1	2	0	3	0	14（20）	
償還額	5,000	7,000	0	50,000	0	119,000（171,000）	

※令和７年３月３１日現在：７件　217,000 円貸付中　　（　　）内は、前年度

(10)善意銀行事業

善意の預託（金銭や物品などの寄附）をお受けし、必要に応じ払出し、指定があった場合は指定された事業等への払出しを行った。

火災によって住居が全焼された世帯に対し、見舞金を支給する

●金銭寄附合計件数：　　●物品寄附合計件数：

●火災見舞金の払い出し

①1/24 発生の火災（南三陸町志津川地区）３０，０００円

(11) 助成事業　　※園児１人／２，０００円

福祉団体等に対し、円滑な組織運営や活動を行われるように助成金を交付。

① 入谷ひがし幼児園　　６２，０００円（園児 31 名）

② あさひ幼稚園　　４４，０００円（園児 22 名）

③ マリンパル保育園　　１４，０００円（園児 7 名）

④ 南三陸町人権擁護委員会　　２０，０００円

(12) 南三陸町老人福祉センター管理運営事業

町民の福祉向上を図るため、施設提供や各種の相談対応、健康増進や教養の向上、活動のための便宜等を図った。また職員の職場健診や研修会、デイサービス行事等の場所提供便宜を図った。

《利用実績》　　（　　）内は、前年度

月　別	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月
利用人数	0	4	4	４３	１３	１２	５７
利用回数	0	1	1	2	2	2	2
月　別	１１月	１２月	１月	２月	３月	合　計	
利用人数	4	4	4	１３２	9	２８６（115）	
利用回数	1	1	1	7	2	２２（13）	

(13) 事務受託団体・メイン行事

①南三陸町老人クラブ連合会

・9 月 26 日(木)：グラウンドゴルフ大会

・11 月 14 日(木)：高齢者芸能発表会

②南三陸町愛の手をつなぐ親の会

・12 月 15 日(日)：クリスマス会

③ 南三陸町身体障害者福祉協会

・9 月 30 日(月)：移動研修会(岩手/大島)

・11 月 22 日(金)：宮城県障がい者福祉大会

④ 南三陸町遺族会

・10 月 11 日(金)：宮城県護國神社参拝及び移動研修会

⑤ 南三陸町共同募金委員会

・運営委員会３回開催

(14) いきいき百歳体操事業：受託事業

南三陸町地域包括支援センター及び関係機関と連携を図りながら、専門的知見を活かした介護予防の取り組みを基に、誰もが参加できる効果的な介護予防を推進し、地域の通いの場を創出、住民が主体的に実施することで、地域での課題の発見、参加者の変化に気づくなど、見守りや支え合いなどの地域づくりに繋がった。また、定期的な体力測定等を行い意識向上を図るとともに健康運動指導士、理学療法士や作業療法士のアドバイスでフレイル予防、筋肉の向上・維持に繋げた。いきいき百歳体操の継続、体験会の普及啓発を目的とした「いきいき百歳体操交流会」では、実施団体だけでなく民生委員、保健推進員等へ活動の周知を行

い、100 名以上が参加し、継続団体への表彰、情報交換やレクリエーション等を実施。参加者同士のつながりや、新たなコミュニティ創出の場となった。

① 事業実績※令和６年度新規団体数：３団体　　（　　）内は、前年度

月	団 体 数	訪問回数	全 人 数	月	団 体 数	訪問回数	全 人 数
4 月	30 (28)	13 (1)	367 (366)	10 月	31 (28)	9 (6)	380 (363)
5 月	30 (28)	14 (9)	384 (364)	11 月	31 (28)	10 (10)	383 (363)
6 月	30 (28)	9 (11)	378 (366)	12 月	31 (28)	13 (10)	380 (368)
7 月	31 (28)	16 (7)	387 (370)	1 月	31 (28)	10 (6)	377 (360)
8 月	31 (28)	7 (4)	385 (370)	2 月	32 (29)	11 (6)	383 (364)
9 月	31 (28)	10 (6)	380 (370)	3 月	32 (29)	11 (5)	383 (367)

３－２地域福祉事業　総務課地域福祉係

❶福祉活動専門員設置事業

（１）広報活動

①社協だよりの発行

号数	発行日	印刷部数	号数	発行日	印刷部数
70 号	8 月 1 日	6,000 部	71 号	11 月 1 日	6,000 部
72 号	2 月 1 日	6,000 部			

※5 月 1 日発行の社協だよりについては、第 2 期南三陸町社会福祉協議会地域福祉活動計画「にっこり　ほっこり　こころプラン」ダイジェスト版を毎戸配布した。

②社協公式ホームページの運営

公式ホームページによる情報発信を積極的に行い、また、SNS による発信として X、Facebook、Instagram、YouTube による情報発信も行い、多くの方々に閲覧頂き社協 PR に努めた。

（２）南三陸町福祉健康まつり 2024

【テーマ】～つながる心　あふれる笑顔　あったかコミュニティ南三陸～

・開 催 日　　2024 年 10 月 5 日(土)9:30～12:00
・開催場所　　南三陸町ベイサイドアリーナ
・実行委員会　21 団体による【負担金及び消耗品等の提供を以って開催】
　　6/18 オンライン・7/18 オンライン・9/24 対面・11/22 対面　5 回実施
・協力団体等　11 団体
・参加者数　　500 名(スタッフ含む)

（３）視察/ヒアリング受入れ

NO	月　　日	団　体　名　等	人数
1	4 月 2 日	トヨタ自動車東日本(株)取締役	4
2	4 月 11 日	(株)三陸新報社取材	1
3	4 月 22 日	NHK 仙台放送局取材	1
4	5 月 2 日	自由民主党復興加速本部	14

5	5月8日	(株)三陸新報社取材	1
6	5月28日	(株)三陸新報社取材	1
7	6月12日	みやぎ連携復興センター	3
8	6月14日	UR都市機構東北震災復興支援本部	14
9	6月20日	石巻市渡波地区民生児童委員協議会	20
10	6月21日	トヨタ自動車東日本株式会社	2
11	6月26日	NHK仙台放送局取材	1
12	7月5日	岩手県一関市藤沢町民生委員児童委員協議会	31
13	7月8日	宮城復興局	4
14	7月11日	京都大学大学院生	2
15	7月26日	トヨタ自動車東日本株式会社関連	1
16	7月29日	NHK仙台放送局取材	1
17	7月30日	宮城県復興伝承課	2
18	8月1日	岩手県金ヶ崎町社会福祉協議会	12
19	8月7日	東京大学大学院工学系研究科学生	1
20	8月9日	NHK仙台放送局取材	1
21	8月20日	NHK仙台放送局取材	1
22	8月26日	宮城県復興支援伝承課	2
23	9月2日	NHK仙台放送局取材	3
24	9月5日	NHK気仙沼支局取材	1
25	9月5日	NHK仙台放送局取材	3
26	9月10日	復興庁宮城復興局	5
27	9月19日	登米市東和町ボランティア友の会	2
28	10月2日	朝日新聞	1
29	10月7日	(株)河北新報社南三陸支局	1
30	10月8日	NHK仙台放送局取材	1
31	10月16日	地域おこし協力隊	1
32	10月29日	兵庫県まちづくり部	3
33	11月11日	登米市東和町ボランティア友の会	13
34	11月14日	UR都市再生機構広島支所	4
35	11月14日	(株)三陸新報社取材	1
36	11月15日	NHK仙台放送局取材	1
37	11月28日	トヨタ自動車九州㈱	5
38	12月6日	南三陸高校	4
39	12月12日	京都大学大学院生	1
40	12月13日	復興副大臣等	8
41	12月16日	みやぎボランティア総合センター	2

42	12 月 18 日	国土交通省交通政策研究所長及び復興庁石巻支所	2
43	1 月 17 日	東北モビリティ基金事業	3
44	1 月 20 日	福島よりそいコミュニティソーシャルワークス	11
45	2 月 6 日	AD6(トヨタ自動車関連)	4
46	2 月 13 日	財務省職員	8
47	2 月 13 日	UR 都市機構災害対応支援部	13
48	2 月 14 日	石川県内社会福祉協議会等	22
49	2 月 14 日	(株)三陸新報社取材	1
50	2 月 27 日	NHK 気仙沼支局取材	1
51	3 月 10 日	近江兄弟社高校教諭	1
52	3 月 13 日	上智大学	5
53	3 月 27 日	京都大学大学院	3
54	3 月 28 日	三陸新報取材	1
合　　計			255

（４）講師等派遣事業【依頼先/開催場所】

NO	月日	研修名（開催場所）	方法	人数
1	4 月 18 日	熱海女性連絡会総会(静岡県熱海市)	対面	70
2	6 月 17 日	志賀町社協職員研修(石川県志賀町)	対面	10
3	6 月 29 日	青少年と地域をつなぐ体験推進事業(志津川自然の家)	対面	25
4	7 月 3 日	2 学年ふるさと南三陸を学ぶ講座(南三陸高校)	対面	54
5	7 月 18 日	登米市納税組合連合会東和支部組合長研修(観洋)	対面	39
6	11 月 1 日	愛知県安城学園高等学校 1 年生総合的な探求の時間①	オンライン	35
7	11 月 5 日	愛知県安城学園高等学校 1 年生総合的な探求の時間②	オンライン	35
8	11 月 21 日	学びあい交流会事例発表(東松島市)	対面	70
9	11 月 30 日	地域包括ケア住民フォーラム事例発表(気仙沼市)	対面	100
10	1 月 29 日	いきいき学園登米栗原校(登米市迫町)	対面	80
11	2 月 8 日	東北学院大学 CSW 公開講座(東北学院大)	対面	6
12	2 月 19 日	神奈川県秦野市ケアプランセンター研修	オンライン	46
13	3 月 13 日	富山県八尾高校防災授業	オンライン	24
合　　計				594

（５）ワークショップ等の開催

NO	月日	内容等	関係団体	人数
1	6 月 14 日	梅干用赤しそ茎取り	地域住民	2
2	6 月 14 日	梅ヘタ取り	地域住民	6
3	6 月 12 日	多肉植物寄せ植え	地域住民	11
4	7 月 3 日	多肉植物寄せ植え	地域住民	17
5	7 月 22 日	梅天日干し	地域住民	5

6	7月25日	クルミボタンワークショップ	みとべ工房	15
7	7月30日	梅天日干し②	地域住民	3
8	7月31日	ブルーベリー摘み取り	双苗地区農家さん	4
9	8月7日	押し花ワークショップ	押し花工房	18
10	9月10日	スマホ教室	仙台応用情報学研究振興財団	5
11	9月12日	スマホ教室	仙台応用情報学研究振興財団	4
12	9月17日	スマホ教室	仙台応用情報学研究振興財団	6
13	9月19日	スマホ教室	仙台応用情報学研究振興財団	5
14	9月24日	スマホ教室	仙台応用情報学研究振興財団	7
15	9月26日	スマホ教室	仙台応用情報学研究振興財団	7
16	10月1日	スマホ教室	仙台応用情報学研究振興財団	7
17	10月3日	スマホ教室	仙台応用情報学研究振興財団	7
18	12月5日	編みにゅけーしょん	東東復興住宅	7
19	12月5日	編みにゅけーしょん	西復興住宅	16
20	12月6日	編みにゅけーしょん	東西復興住宅	25
21	12月9日	編みにゅけーしょん	伊里前復興住宅	17
22	12月9日	編みにゅけーしょん	戸倉復興住宅	15
23	12月9日	編みにゅけーしょん	中央復興住宅	11
24	12月12日	編みにゅけーしょん	里和の会	10
25	12月23日	編みにゅけーしょん	野いちごの会	5
26	1月23日	多肉植物寄せ植え	(一社)みちのさき	9
27	1月24日	多肉植物寄せ植え	(一社)みちのさき	9
28	2月3日	節分イベント	地域住民	44
29	3月21日	多肉植物寄せ植え	地域住民	10
30	3月25日	多肉植物寄せ植え	地域住民	5
31	3月27日	防災クック	くらしの学びサポートオフィスHumanBeing	18
合　計				330

（6）住友理工あったか基金事業　　1,104食×700円＝772,800円

株式会社住友理工様及び職員による地域支援事業の一環として本会に対しご支援をいただいた。内容については地域コミュニティづくりへのお弁当支援とし町内弁当業者への経済効果(還元)も視野に実施した。

また、10月25日～26日に開催した「小さな社協のこだわりフォーラム」でも活用。東日本大震災後の被災者支援事業の集大成としてこれまでの活動を振り返り、小さな社協が住民目線でこだわり続けた活動を報告。また、次の被災者支援から地域づくりへのフェーズにおいて、この事業が他の被災地等へのメッセージとなることを期待し、全国から多くの関係者を招き実施することができた。

（7）ほっとバンク事業

日常の見守りや支え合いの重要性を共有し、病院内の見守り、復興祈念公園除草作業、イベント等のボランティア活動や研修会を実施した。

〇R6 年度末　登録メンバー　225 名/年間活動数　757 名

〇協力店　64 団体（店舗）

〇ほっとバンクボランティア活動

NO	日　　時	内　　容	参加人数
1	4 月 25 日	ほっとバンク研修会/共同募金研修会	50
2	6 月 14 日	生活支援担い手養成講座～ほっとバンク研修会	34
3	6 月 21 日	南三陸町復興祈念公園除草作業	30
4	9 月 13 日	南三陸町復興祈念公園除草作業	20
5	11 月 7 日	南三陸町復興祈念公園除草作業	16
6	3 月 6 日	ほっとバンク研修会「気づきからはじまる地域づくり」	54

〇院内ボランティア活動

月別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
件数	0	15	11	14	10	10
月別	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
件数	11	8	7	5	4	5
合　　計				100 件		

（8）救急医療情報キット「いのっちくん」事業

民生委員等と連携し心身に不安を抱える住民にキットを支給、自宅の冷蔵庫等に保管し有事に備え、また、南三陸消防署とも連携協力を継続している。

内　　容	令和 5 年度	令和 6 年度
いのっちくん所持者	516 人	529 人
南三陸消防署活用数	27 件	24 件

（9）SOS フラッグ事業　　※415 世帯所持

救急医療情報キット「いのっちくん」を所持している全世帯を対象に希望者へ SOS フラッグを配布し見守りの一助とし、民生委員等の協力を得て進めている。

（10）虹のバトン事業

公的なサービスでは賄えない隙間事業（生活支援事業）に対し、本人及び介護支援専門員や専門職より依頼を受け実施した。　※R6 年度件数 106 件

月別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
件数	8	12	10	7	7	6
月別	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
件数	14	6	10	7	7	12
合　　計				106 件		

(11) ボランティアセンターの運営　　※R6 年度 55 件 399 数名

県外町内ボランティアの受入れ、及び活動を他の関係機関とも連携し実施した。

○R6 年度ボランティア活動数名　(町内 399 名・町外 0 名)

(12)ボランティア保険加入状況＊活動例・・南三陸町復興祈念公園除草活動等　(59 名)

月別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
件数	277	11	71	4	1	4
月別	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
件数	15	6	0	3	0	0
合　　計				392 件(R5 年度 437 件)		

(13)ボランティア行事用保険加入状況

月別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
件数	320	297	377	334	100	638
月別	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
件数	486	605	315	130	257	401
合　　計				4,260 件(R5 年度 3,130 件)		

(14) 福祉共育事業

小中学校と協働しキャップハンディ体験や総合的な学習､住民との交流会などを通し､「普通の暮らしのしあわせ」を考え、相手の気持ちに寄り添う授業を実施、福祉について考えるきっかけづくりを行った。

月　日	内　　容	場　　所	参加人数
5 月 9 日	防災教育推進委員会	歌津中学校	20
7 月 10 日	キャップハンディ体験	歌津中学校	24
8 月 28 日	高齢者・妊婦体験	歌津中学校	24
9 月 10～12 日	高校生ジュニアインターンシップ	結の里	3
9 月 20 日	伊里前地区住民交流会 名足地区住民交流会	伊里前復興住宅集会所 名足地区集会所	33 18
9 月 25 日	福祉教育振り返り授業	歌津中学校	24
10 月 28 日	志津川小学校 4 年生総合学習	結の里	30
11 月 29 日	防災教育推進委員会	歌津中学校	20

(15) 防災共育

子どもから大人まで楽しみながら防災を学ぶ「防災すごろく」「持ち出し品ゲーム」を実施。月 1 回南三陸 311 メモリアル伝承館を会場に、地域の方や観光で来町された方々を対象に防災ゲームを通して助け合いの大切さについて考えるきっかけづくりを行った。

月日	4 月 14 日	6 月 13 日	7 月 11 日	8 月 8 日	9 月 12 日	10 月 10 日
人数	7	51	13	22	14	16
月日	11 月 14 日	12 月 12 日	1 月 9 日	2 月 13 日	3 月 13 日	合計
人数	22	4	15	12	65	241

❷結の里３本柱事業

赤ちゃんから高齢者まで誰もが気軽に集える居場所づくりを推進し、住民が主体性と役割を持って暮らせるよう、結の里運営協議会及び各実行委員会を中心に活動を展開した。

（１）えんがわカフェ

月曜日～金曜日の８：30～17：00まで時短営業　【イベント時は土日祝も開店】

○月曜日/野菜朝市　○火曜日/野菜販売/クレープ屋　○水曜日/いずみパン

○金曜日/杏樹の森お惣菜【移動販売(電気)30分50円】

○カフェ・結ＢＯＸ利用料収入(月100円利用料) 令和6年度末現在　平均20名利用

○月別売上　R6・月平均48,872円　R5・月平均52,186円

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
売上金	50,140	54,870	54,910	55,680	37,810	71,930

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
40,250	81,980	32,400	39,600	31,950	34,950	586,470

(２)イベント関係　＊イベント実行委員会が主催

日　　時	内　　容	活動場所	人数
4月24日(水)	ちいさなたがい市	戸倉沖田行政区集会所	50
5月22日(水)	ちいさなたがい市	入谷慈恵園駐車場	85
5月28日(火)	フルート&クラシックギターコンサート	結の里	34
6月19日(水)	ちいさなたがい市	伊里前公営住宅集会所	152
7月1日(月)	ダンベル交流会①	生涯学習センター	63
7月17日(水)	ちいさなたがい市	西公営住宅第1集会所	94
7月26日(金)	ミキベイビーコンサート	東西公営住宅集会所	50
7月30日(火)	ダンベル交流会②	歌津老人福祉センター	43
8月1日(木)	＊結の夕涼み会	結の里	300
9月5日(木)	＊走らない大運動会	東西中央広場	203
9月6日(金)	ギターコンサート	結の里	28
9月18日(水)	ちいさなたがい市	石泉活性化センター	103
9月20日(水)	地域交流コンサート【フルート】	結の里	37
10月25日(金)	小さな社協のこだわりフォーラム	ベイサイドアリーナ	274
10月26日(土)	小さな社協のこだわりフォーラム	ベイサイドアリーナ	194
11月1日(金)	時報コンサート&腹話術	結の里	48
11月8日(金)	ちいさなたがい市	中央・なかよし農園	131
11月13日(水)	みんなで歌おうコンサート	結の里	39
11月14日(木)	高齢者芸能発表会	ベイサイドアリーナ	219
1月10日(金)	我笑イベント	結の里	120
1月24日(金)	新春かるた大会	東西公営住宅集会所	35
2月3日(月)	節分イベント	結の里	44

2 月 25 日(火)	沖縄三線コンサート	結の里	24
3 月 9 日(日)	もっちもちイベント	東東公営住宅集会所	130
3 月 24 日(月)	笑いと懐かしさに包まれるコンサート	南三陸ホテル観洋	128
合　　計			2,628

（3）みんな食堂　　【参加費 300 円】

みんな食堂　開催 11:30～13:00　参加費 300 円～(材料・保険)

日　　時	内　　容	参加人数
4 月 26 日(金)	鶏五目ご飯&おひたし	244
5 月 24 日(金)	油麩うどん&おにぎり	233
6 月 28 日(金)	いなりずし&スープ、ナムル	260
7 月 19 日(金)	冷やし中華	247
8 月 1 日(木)	結の夕涼み会　提供【250 食】	－
9 月 20 日(金)	夏野菜カレー	238
10 月 25 日(金)	鮭のホイル焼き、けんちん汁、ご飯、漬物	292
11 月 22 日(金)	豚汁&新米おにぎり	226
12 月 20 日(金)	3 色丼&サラダ	234
2 月 14 日(金)	あずきばっとう&もやしの和え物	249
3 月 14 日(金)	ちらし寿司&みたらし団子	232
	合　　計	2,455

※12 月 20 日(金)はイベント実行委員との協働によりクリスマス食堂を開催。

※2 月 22 日(土)には､栗原市社会福祉協議会若柳支部福祉向上研修会に 21 名が参加し、みんな食堂実行委員会の活動を報告、また地元住民の皆さんと南三陸の食材で交流を深めた。

❸災害公営住宅 LSA 事業：町受託事業

６０戸以上の災害公営住宅集会所の高齢者生活相談室に生活援助員を 1～２名配置し、個別支援、自治会運営等にかかるコミュニティ活動支援の両輪で活動を行った。
また、結の里事業を通じ、近隣住民との交流の場づくり、支え合いの浸透により住民力を発揮できるよう促しながら、個々の役割づくりやエンパワメントを推進した。

事務所　　本部事務所(結の里)・伊里前・戸倉・東東・東西・西・中央

① 職　員：正職員　1 名（兼務）　生活援助員 9 名
② 見守り総数：4,828 件　　電話件数：2,010 件　　来所総数：5,099 件
　関わり総数：41,910 件　相談件数：488 件
③ 活動内容：体操・運動 9,186 名　地域間交流 3,634 名　住宅内交流 1,936 名
④ ミーティング：毎週火曜日朝 9 時から情報共有会議を開催
⑤ 毎月第 2 火曜日午後より地域福祉係全体による月例総括会議を開催
⑥ 毎月実施の社協職員全体研修(スキルアップ研修)に参加
⑦ 個別支援及びコミュニティ支援を両輪で展開
⑧ 地域づくりのあれこれ(自治会役員等研修会)のファシリテーション

月　　日	研修内容	実施場所	参加人数
12 月 11 日(水)	LSA 事業継続・共益費等	志津川東第 2 集会所	16
3 月 18 日(火)	次年度の見守り・自治会役員等の集い等	志津川東第 2 集会所	14

＊その他、結の里イベント、みんな食堂、えんがわカフェ等に協力

❹生活支援コーディネート事業：町受託事業

（第１層１名・第２層１名）

地域住民が主体となった生活支援・介護予防サービスの充実が図れること、地域の担い手を育成しながら支え合いの輪を広げていくことを主眼とし、介護保険サービスが必要になった際も地域とのつながりを切らさないようサポートし、住民及び介護支援専門員等への情報提供を積極的に行った。また、地域で実施しているサロン事業の点を線でつなぎ交流の機会を創出するなど、町民がいきいき元気に暮らすため健康寿命の延命に向け、地域みんなで暮らしを支える仕組みづくりを行った。

① 関わり団体件数　　＊実質団体数/105 団体

志津川地区	入谷地区	歌津地区	戸倉地区
84	75	52	35
町内全域	文化協会	NPO・企業	地域組織
9	4	36	9

②研修・連携内容

＊毎月１回地域包括支援センターとの月例会を開催し情報共有及び方向性を確認。

＊隔月１回第３月曜日に関係機関との地域支援ミーティングを開催。

＊LSA と共に週に一度の朝ミーティングを実施し情報の共有を実施。

＊隔月毎に社協内の地域福祉会議に参加し情報の共有を実施。

＊石巻市・女川町・東松島市・登米市・南三陸町の生活体制整備事業担当者合同開催による定期的な研修を実施し、近隣市町の活動状況の把握や情報の共有を実施。

＊南三陸町福祉健康まつり実行委員会事務局として連絡調整を行った。

③その他の事業実施・研修参加状況

No	月　　日	活動内容	場　所
1	4 月 16 日(火)	第 1 回広報委員会	志津川東第 2 集会所
2	4 月 22 日(月)	戸倉交流センター活用ミーティング	戸倉交流センター
3	4 月 23 日(火)	入谷地区民生児童委員情報交換会	入谷公民館
4	4 月 25 日(金)	ほっとバンク研修会	ベイサイドアリーナ
5	4 月 30 日(火)	暮らしとコミュニティ推進部会検討会①	総合ケアセンター
6	5 月 1 日（水）	南三陸病院院内ボランティアオリエンテーション	結の里
7	5 月 27 日(月)	第 30 回さんサンポートプロジェクト	上山八幡宮社務所
8	5 月 29 日(水)	南三陸町老人クラブ連合会総会	総合ケアセンター
9	6 月 4 日（火）	暮らしとコミュニティ推進部会検討会②	総合ケアセンター
10	6 月 14 日(金)	生活支援担い手養成講座～ほっとバンク研修会	総合ケアセンター
11	6 月 17 日(月)	町内外介護支援専門員情報交換会	総合ケアセンター

12	6月26日(水)	第1回暮らしとコミュニティ推進部会	総合ケアセンター
13	7月12日(金)	第2回広報委員会	志津川東第2集会所
14	7月24日(水)	地域の掘り出し市@南三陸	ベイサイドアリーナ
15	9月26日(木)	南三陸町老人クラブ連合会グラウンドゴルフ大会	松原公園グラウンド
16	9月30日(月)	令和6年度生活支援体制整備事業市町村事例発表会	役場本庁舎マチドマ
17	10月21日(月)	第3回広報委員会	志津川東第2集会所
18	10月25日(金)	小さな社協のこだわりフォーラム	ベイサイドアリーナ
19	10月26日(土)	小さな社協のこだわりフォーラム	ベイサイドアリーナ
21	11月14日(木)	南三陸町芸能発表会	ベイサイドアリーナ
22	11月28日(火)	第2回暮らしとコミュニティ推進部会	総合ケアセンター
23	12月5日(木)	自立支援型ケア会議	総合ケアセンター
24	12月6日(金)	介護家族交流会	総合ケアセンター
25	12月11日(水)	自治会研修会～地域づくりのあれこれ～	志津川東第2集会所
26	1月16日(木)	全国生活支援コーディネーター情報交換会	オンライン
27	1月17日(金)	第3回広報委員会	志津川東第2集会所
28	2月14日(金)	石川県内社協視察及び情報交換会	志津川東第2集会所
29	2月19日(水)	入谷地区高齢者教室閉講式	入谷公民館
30	3月6日(木)	ほっとバンク研修会「気づきからはじまる地域づくり」	生涯学習センター
31	3月6日(木)	多職種・多機関研修「重層的な支援ってな～に？」	生涯学習センター
32	3月17日(月)	宮城県災害ケースマネジメント研修会	ベイサイドアリーナ
33	3月18日(火)	自治会研修会～地域づくりのあれこれ～	志津川東第2集会所
34	3月25日(火)	地域包括ケア推進協議会	総合ケアセンター

❺デマンド事業：GOTO協議会受託事業

令和5年7月から運行が始まったデマンド型乗り合いバスの運営や企画、住民へ周知や利用登録の促進、予約端末の案内や設置、不具合の対応、利用者のサポートをしながら住民同士の交流の要となるよう南三陸 GOTO 協議会(南三陸町、トヨタ自動車東日本株式会社、歌津交通)と連携しながら実施した。

① 訪問件数　　合計:延べ273名

4月	5月	6月	7月	8月	9月
35	31	27	23	39	11
10月	11月	12月	1月	2月	3月
16	12	22	32	16	9

② 登録者数：620名(R7.3現在) ③端末総数：56台(R7.3現在) ④不具合件数：136件(R6年度年間総数)

＊毎週水曜日南三陸GOTO協議会とオンラインでミーティングを実施。

＊毎週火曜日朝9時から地域福祉係全体の朝ミーティングに参加、情報共有を実施

＊毎月地域福祉係全体による月例総括会議に参加し情報共有を実施。

＊隔月毎に社協内の地域福祉会議に参加し情報の共有を実施。

＊毎月 1 回南三陸 GOTO 協議会、東北モビリティコンソーシアム(TMEJ)、南三陸町企画課、本会参加の運営連絡会で情報共有を実施。
＊令和 6 年度はデマンドバスの利用促進、住民の地域参加を目的としたみんな食堂・南三陸 SmartGOTO お買い物バスツアー、南三陸 SmartGOTO たがい市バスツアーを実施し合計 67 名が参加した。

３－３在宅福祉事業　　介護福祉課通所介護係

❶南三陸町デイサービスセンターうたつ（通所介護・第１号通所事業）

（１） 事業全体評価

可能な限り自立した日常生活が送れるよう、又介護負担が軽減できるよう利用者の希望に沿う取り組みとして、曜日変更などの臨時利用の対応も行った。また、独居や高齢者夫婦の支援について、自宅での生活が続けられるよう内服薬の確認や体調を確認、生活への張り合いや楽しみなどを創造、社会的孤立の解消に努めた。利用者一人ひとりの意向に添った個別機能訓練を実施することで全体活動も個々に合わせ対応した。

また、地域住民との交流も兼ね、ほっとバンクボランティアによるお茶出しや活動補助、話し相手等の受け入れを実施、更には環境整備の一環として同ボランティアによる窓掃除等の清掃活動も実施した。

（２）取り組み状況

1. サービス向上

研修会に積極的に参加しその内容を事業所内で振り返りを行い取り組んだ。

2. 接遇

利用者に対する言葉使いは柔らかい言葉掛けや穏やかな表情で接し傾聴した。

3. 業務改善

業務の課題を帰りのミーティングで検討し、職員間で意見を出し合い業務改善に取り組んだ。研修内容を仕事に生かす工夫や姿勢に対する改善が見られた。

（３）年間行事実施状況　　＊誕生会/毎月実施

実施期間	月	行　事	内　容
4/10～4/16	4 月	平成の森お花見	平成の森の桜をバックに記念撮影会。
5/6～5/10	5 月	つつじ見物	車で田束山へ行きつつじを鑑賞。
6/10～6/14	6 月	シートゴルフ	室内でシートゴルフ大会。
6/24 ～7/5	7 月	七夕	短冊に願い事を書いて飾った。
8/19～8/23	8 月	夏祭り	パン取りや魚釣りゲーム等実施・リース作り
10/2～10/4	9 月	敬老会	舞踊ボランティアとの地域間交流。
10/21～10/25	10 月	紅葉狩り	払川ダムに紅葉見学。
11/12～11/15	11 月	運動会	パンに見立てた物取り競争の実施。
12/16～12/20	12 月	クリスマス会	ケーキを食しツリー作成・干し柿作り
1/4 ～1/6	1 月	新年の抱負	今年の目標を書き、抱負を共有。
1/30～2/3	2 月	鬼退治	鬼の的を狙い倒れるまでお手玉を投げた。
2/20 ～24	3 月	雛祭り	千代紙などを使いお内裏様とお雛様を作成。

（４）研修実施状況

月　日	研修内容	参加人数	
4 月 5 日	入浴介助研修	8 名	内部
4 月 18 日	令和 6 年度介護報酬改定について	7 名	内部
5 月 22 日	認知症介護の倫理と法令遵守について	9 名	内部
6 月 20 日	これから変わるチームケアについて	9 名	内部
7 月 17 日	感染症の基礎知識と対策について	7 名	内部
8 月 21 日	感染症対策の基本とゾーニングについて	1 名	外部
8 月 29 日	感染症対策の基本とゾーニングについて	6 名	内部
9 月 19 日	コミュニケーションについて「職員編」	7 名	内部
10 月 23 日	令和 6 年度感染症予防対策セミナーについて	1 名	外部
10 月 23 日	介護保険事業所におけるハラスメント対策の基本	7 名	内部
11 月 6 日	接遇について	7 名	内部
11 月 8 日	高次脳機能障害について	1 名	外部
11 月 20 日	権利侵害行為としての高齢者虐待と身体拘束について	6 名	内部
12 月 4 日	自然災害発生時における BCP 机上訓練	6 名	内部
12 月 19 日	コミュニケーション「利用者・住民編」	6 名	内部
1 月 14 日	令和 6 年度権利擁護研修会	1 名	外部
2 月 19 日	重層的支援体制整備事業について	8 名	外部
3 月 17 日	宮城県災害ケースマネジメント研修会	1 名	外部
毎月	検討会	5 名	内部
毎月	業務改善会議	1 名	内部

（５）ボランティア等受入れ状況

月　日	氏　名（団体名等）	実人数	内　容
11 月	ほっとバンク	5 名	窓掃除など
不定期	ほっとバンク	2 名	午前の活動の補助

（６）利用実績

介護度	延人数	
	6 年度	5 年度
要介護１	１，５８５	１，４２９
要介護２	７４３	１，３２５
要介護３	７１０	８１６
要介護４	１７４	２２９
要介護５	８２	３４
要支援１	２９７	３５５
要支援２	７９	６７
事業対象者	0	0
合　計	３，６７０	４，２５５

❷南三陸町デイサービスセンターいりや（地域密着型通所介護・第１号通所事業）

（１）事業全体評価

地域密着型デイサービスとして、新年会・敬老会・平時の活動において三味線演奏、舞踊ボランティアを招き、地域との交流が図れた。また町内高校生によるジュニアインターンシップの受け入れを積極的に行った。

また、一人一人の利用者の身体状況を把握し、個々の状況に合わせたケアを実施し、様々な研修をとおし、職員の資質向上に繋がるよう努めた。

日常動作訓練活動では、四季折々の季節を味わって頂くことを目的に、施設外の活動も積極的に取り入れ、施設内では、趣向を凝らしたレクリエーションの実施、個別活動では個々の趣味や得意分野を生かす活動を継続した。

（２）取組み状況

1. サービス向上

朝夕のミーティングを行い記録に残し、職員間で情報共有を図った。

他事業所とのコミュニケーションを取り連携の徹底が出来た。

2. 接遇

優しい声掛けと笑顔と思いやりの心を常に心掛けて利用者と接した。

3. 業務改善

環境整備や書類整理を職員間で徹底する事を心掛け出来ていた。

目標に向け、職員全員が同じ方向を向き業務が送れるよう、創意と工夫の中で実践した。

（３）年間行事実施状況　　＊誕生会/毎月実施

実施期間	月	行　事	内　容
4/10～4/16	4 月	お花見	ひころの里、クリーンセンターの桜並木見物
5/1～5/6	5 月	鯉のぼり作成	思い思いの鯉のぼりを製作し持ち帰った。
6/26～6/28	6 月	菜園	野菜苗を植えた。
7/11～7/15	7 月	納涼祭(七夕)	短冊に願い事を書き七夕作りとゲーム。
8/19～8/24	8 月	夏祭り	金魚すくい等で夏祭りの雰囲気を楽しんだ。
9/23～9/28	9 月	敬老会	ボランティアを招き踊りで敬老をお祝い。
10/14～10/19	10 月	運動会	紅白対抗パン取り競争や玉入れを行った。
11/13～11/16	11 月	紅葉見物	ひころの里松笠屋敷へ紅葉見学。
12/16～12/20	12 月	クリスマス会	ツリーを個々に作成し完成品は持ち帰った。
1/20～1/20	1 月	新年会	ボランティアを招き舞踊を披露して頂いた。
1/27～2/1	2 月	節分	ペットボトルに鬼の面を付け玉あて厄払い。
2/24 ～3/1	3 月	ひな祭り	雛人形を製作し皆で歌ってお祝い。

（４）研修実施状況

月　日	研修内容	参加人数	
4 月 8 日	入浴介助・清拭マニュアル	6 名	内部
4 月 10 日	令和６年度保険制度改正・経過措置について	6 名	内部
4 月 22 日	社会福祉協議会地域福祉活動計画	7 名	内部
5 月 8 日	感染症研修	7 名	内部
5 月 22 日	認知症介護の倫理と法令遵守の研修	7 名	内部
6 月 6 日	高齢者虐待防止研修	7 名	内部
6 月 20 日	これからが変わるチームケア	7 名	内部
7 月 17 日	感染症の基礎知識と対策について	7 名	内部
9 月 20 日	コミュニケーションとは	7 名	内部
10 月 20 日	身体拘束・虐待防止	7 名	内部
10 月 23 日	介護保険事業によるハラスメント対策の基本	7 名	内部
11 月 30 日	介護現場における接遇マナー	7 名	内部
12 月 19 日	コミュニケーション（利用者・住民編）	7 名	内部
1 月 14 日	権利擁護研修会（虐待における意思決定支援）	1 名	外部
2 月 19 日	重層的支援体制整備事業について	7 名	内部
3 月 17 日	宮城県災害ケースマネジメント研修会	1 名	外部

（５）ボランティア等受入れ状況

月　日	氏　名（団体名等）	実人数	内　　容
9 月 10～12 日	南三陸高校ジュニアインターンシップ	2 名	機能の学びと交流
9 月 23～28 日	入谷婦人会・千歳流京鈴会・熊谷流南三陸支部	15 名	敬老会舞踊
1 月 20～25 日	入谷婦人会・千歳流京鈴会・熊谷流南三陸支部	28 名	新年会舞踊
2 月 3～7 日	個人・佐々木守氏	1 名	三味線演奏

（６）利用実績

介護度	延人数	
	６年度	５年度
要介護１	２，０００	２，０５１
要介護２	９６０	１，２９０
要介護３	６９３	５９６
要介護４	１１	４５９
要介護５	３４	１０
要支援１	８３	１４８
要支援２	６６	３３
事業対象者	１	１３７
合　計	３，８４８	４，７２４

❸南三陸町デイサービスセンターしづがわ（指定通所介護・第１号通所事業）

（１）事業全体評価

個別機能訓練実施や軽体操、様々なレクリエーションを取り入れ、利用者が意欲的取り組めるよう工夫し、歩行状態の安定や自力歩行への機能向上を図ることが出来た。また、結の里と連携し様々なイベントに参加、「心にも笑顔・声にも笑顔」のスローガンにもある様に笑い声が飛び交う場の提供が出来た。

（２）取組み状況

1. サービス向上

利用者や家族の意向に耳を傾け聞き取り、利用者の身体状況に応じた計画を提供し、安全に現在の状態を維持できる対応を心掛けた。

2. 接遇

相手の言葉を傾聴し、気持ちに寄り添い、思いやりの心で接することを心掛け、コミュニケーションの円滑化に繋げた。

3. 業務改善

日々の申し送りやミーティング等でチームワークの向上を図り、利用者の情報を共有、一人ひとりが責任をもった対応に努めた。

（３）年間行事実施状況　　＊誕生会/毎月実施

実施期間	月	行　事	内　容
4/10～4/13	4 月	お花見	町内のお花見スポットを見学鑑賞した。
4/29～5/4	5 月	端午の節句	折り紙やストローを活用し鯉のぼりを作成、自宅へ持ち帰った。
6/14～6/17	6 月	野菜の苗植え	土づくりから始まり、プランターへ野菜苗を植えた。
6/18～6/24	7 月	七夕飾り	折り紙で七夕飾りを作成、短冊に願いを書いた
8/26～8/31	8 月	夏祭り	金魚すくい等で夏祭りの雰囲気を味わった。
9/16～9/20	9 月	敬老会	舞踊ボランティアによる踊りを披露しお祝いした。
10/7～10/12	10 月	運動会	赤白に分かれ玉入れやお菓子取り等を楽しんだ。

11/16～11/22	11 月	紅葉見物	ひころの里へ紅葉見物、赤や黄色の景色を楽しんだ。
12/2～12/7	12 月	飾り作成	クリスマス飾りを個々に作成し自宅へ持ち帰った。
12/23～12/28	12 月	クリスマス会	ロールケーキに自分で果物等を飾り付け楽しんだ。
1/6～1/11	1 月	新年会	甘酒で乾杯し新年の抱負を語った。
2/3 ～2/8	2 月	節分鬼退治	ペットボトルで作った鬼にお手玉を投げ楽しんだ。
2/24 ～3/1	3 月	ひな祭り	雛飾りを作成し自宅へ持ち帰り飾った。

（４）研修実施状況

月　日	研修内容	人数	
4 月 15 日	令和 6 年度介護保険施設等集団指導についての研修	7 名	内部
4 月 22 日	第 2 期地域福祉社会活動計画について	7 名	内部
5 月 11 日	高齢者虐待マニュアル確認研修	8 名	内部
5 月 22 日	認知症介護論理と法令順守について	8 名	内部
6 月 20 日	これからが変わるチームケアについての研修	11 名	内部
7 月 17 日	感染の基礎知識と対策について・食品衛生について	11 名	内部
7 月 19 日	認知症介護基礎研修について	11 名	内部
7 月 30 日	令和 6 年度介護保険施設等集団指導について	1 名	外部
8 月 21 日	食品衛生責任者養成講習会	1 名	内部
9 月 19 日	コミュニケーションについて	11 名	内部
10 月 9 日	ゾーニングについての研修	11 名	内部
10 月 23 日	介護保険事業所におけるハラスメント対策の基本研修	11 名	内部
10 月 28 日	業務継続計画についての研修	11 名	内部
11 月 1 日	虐待防止研修について	1 名	外部
11 月 20 日	権利侵害行為としての高齢者虐待と身体拘束について	11 名	内部
11 月 25 日	入浴介助についての研修	11 名	外部
12 月 20 日	コミュニケーション利用者・住民編	11 名	内部
1 月 14 日	権利譲渡　虐待対応における意思決定支援	1 名	外部
2 月 19 日	重層的支援体制設備事業についての研修	11 名	内部
3 月 17 日	宮城県災害ケースマネジメント研修	1 名	外部

（５）ボランティア等受入れ状況

月　日	氏　名（団体名等）	実人数	内　容
毎週火曜日	ほっとバンク	4 名	見守り、ドライヤーかけ等
9 月 18 日～20 日	熊谷流	18 名	新年会の舞踊ボランティア

（6）利用実績

介護度	延人数	
	6年度	5年度
要介護1	2，047	1，410
要介護2	1，852	1，005
要介護3	695	672
要介護4	178	257
要介護5	0	0
要支援1	445	197
要支援2	239	322
事業対象者	39	47
合　計	5，495	3，910

3－4在宅福祉事業　介護福祉課居宅介護支援係

❹南三陸居宅介護支援センター

（1） 事業全体評価

新任職員を迎え4名体制でスタート、現任と共にケアマネジャーの役割や日々のケアプラン策定に至る手順や法令、接遇等を丁寧に確認し合うなど、チェック作業を通年行い、調整の統制化、適正化を図った。

日頃の生活の中で「介護は突然やってくる」。介護の手助けが必要となった時に、その方にあった支援の窓口やサービスに的確につないでいけるよう、わかりやすい介護保険の説明に努める事ができた。

課題として、地域から必要とされる事業所作りを目指し取り組んでいるが、本事業所を選んで頂いても、受け入れ体勢が万全でない状況から、新たな業務継続体制を構築するために、継続した協議を行い改善に向けていく。

（2）取組み状況

1. サービス向上

ケアマネジャーは、地域の方が住み慣れた自宅で暮らし続けられ、自分らしい最期を選択できるよう、提案、紹介、組み立てるため、継続し看取りケアの研修会に参加し、南三陸町での在宅・施設・病院の実情と良さを理解する。

また、ケアマネジャーの立ち位置と多職種連携の重要性を全員で再確認する。

【在宅看取り2事例】利用者様の状況に応じたチームケアを実践、事業所内部、関係機関等と日頃から信頼関係の構築を意識し、情報提供･共有･連携に努め

2. 接遇

誰にでもわかりやすい介護保険の説明ができるよう、ケアマネジャー自身が制度の最新情報の理解を深め、伝えられるよう、繰り返し情報共有や学びの時間を持てるよう取り組み、円滑なサービス利用につなぐ事ができた。

3. 業務改善

特定事業所加算算定事業所として法令遵守し利用者様のニーズに多角的な視

点で取り組めるよう丁寧にケアマネジメントを実践している一方、業務に係る記録や調整に追われ、実績が伸び悩んでいる現状となった。今後は、生産性向上・ICT 活用を意識し業務全体を見直し、スムーズ且つスマートに支援を展開し、質・実績共にアップしていけるよう職員が一丸となり取り組む。

（3）研修実施状況

月　日	研修内容（内部・社協全体研修）	参加人数	
5 月 13 日	ケアプランデータ連動システムついての研修	４名	内部
5 月 20 日	住宅改修についての研修	４名	内部
5 月 27 日	働く人のストレスと自分を守るケアの方法（オンライン）	４名	内部
6 月 10 日	感染症対策研修	４名	外部
6 月 17 日	ケアマネ情報交換会(生活保護制度についての研修)	４名	外部
6 月 20 日	認知症フォローアップ研修	４名	社協
7 月 4 日	他法人合同カンファレンス	６名	内部
6 月 16 日	難病(進行性核上麻痺) 研修	４名	社協
7 月 17 日	感染症対策研修	４名	内部
8 月 5 日	事例検討会(処遇困難事例)	４名	外部
8 月 19 日	ＢＣＰ研修	４名	内部
9 月 2 日	難病医療講演会（オンデマンド）	４名	内部
9 月 19 日	コミュニケーションツール研修	４名	社協
9 月 24 日	リハビリテーション関連研修	４名	内部
10 月 7 日	事例検討会（現に抱える処遇困難ケースの具体的処遇方針）	１名	内部
10 月 23 日	ハラスメント研修	４名	社協
11 月 5 日	日常生活支援事業「まもりーぶ」について	４名	内部
11 月 20 日	身体拘束・虐待防止研修	４名	社協
12 月 2 日	在宅のケアマネジメントで行う家族支援（オンデマンド）	４名	内部
12 月 10 日	事例検討会（認知症・独居者/ケア会議と地域連携について学ぶ）	３名	外部
2 月 3 日	他法人合同カンファレンス（包括との懇親会）	４名	社協
2 月 18 日	進行性疾患に対する福祉用具支援（オンライン）	４名	内部
2 月 19 日	重層的支援体制整備事業について	４名	社協
3 月 3 日	生産性向上・ITC 活用を知ろう「基本のキ」（オンデマンド）	４名	社協
3 月 17 日	宮城県災害ケースマネジメント研修会	１名	外部

（4）実習（研修）生等受入れ状況

期　間	研修名	人　数
2 月 10 日～17 日 (3 日間)	介護支援専門員実務研修実習受入 （指導／主任介護支援専門員）	１名

（５）事業実績【居宅介護支援費Ⅰ】

介護度及び単価	件　数	
	６年度	５年度
介護１～２　@10,860 円　（R6/@10,760 円）	８１８件	７８３件
介護３～５　@14,110 円　（R6/@13,980 円）	３２２件	３８８件
月遅れ分	３件	４件
初回加算　@3,000 円	４３件	４１件
入院時情報連携加算Ⅰ　@2,500 円（R6/@2,000 円）	２２件	３５件
入院時情報連携加算Ⅱ　@2,000 円（R6/@1,000 円）	１２件	２件
退院・退所加算（連携Ⅰ～連携Ⅲ） @4,500 円～@9,000 円（5 段階あり）	８件	８件
通院時情報連携加算　@500 円	６件	０件
ターミナルケアマネジメント加算　@4,000 円	０件	０件
特定事業所加算（Ⅱ）@4,210 円（R6/@4,070 円）	１，１４３件	１，１７５件

３－５在宅福祉事業　　介護福祉課訪問介護係

❺南三陸町ヘルパーセンターまごころ（訪問介護・第１号訪問事業）

（１）事業全体評価

チームワークを大切に利用者視点に立ちサービス提供に努めることができた。関係機関との情報共有を密に多職種との連携を図った。

（２）取組み状況

1. サービス向上/研修参加後、再度職員での振り返りを実施したことにより一人一人の考え方等情報共有しながらサービスの向上が見られた。

2. 接遇/利用者、ご家族の状況を踏まえながら傾聴、受容を心掛け対応できた。

3. 業務改善/効率よく業務が遂行出来るよう書類整理や記入方法の見直しを図ることでミスを最小限に留めることができた。

（３）研修実施状況

月　日	研修内容	参加人数	
4 月 2・5 日	新任職員介護・技術研修会	3 名	内部
4 月 12 日	高齢者虐待研修会	5 名	外部
5 月 29 日	認知症介護の倫理と法令遵守	6 名	外部
5 月 31 日	虐待対策委員会	1 名	内部
6 月 19 日	チームケア	6 名	外部
7 月 16 日	身体拘束研修	6 名	内部
7 月 17 日	感染症と基礎知識と対策食品衛生について	6 名	外部
7 月 31 日	在宅医療・介護連携推進部会	1 名	外部
8 月 20 日	介護事故を繰り返さないために	6 名	内部
8 月 21 日	感染症対策 石巻赤十字　実施訓練	1 名	外部

10 月 23 日	介護保険事業者におけるハラスメント	6 名	内部
11 月 19 日	ＢＣＰ机上訓練（自然災害）	6 名	内部
11 月 22 日	身体拘束廃止・高齢者虐待研修	6 名	内部
11 月 22 日	ＢＣＰ感染症対策	4 名	内部
12 月 16 日	緊急時対応	4 名	内部
12 月 20 日	コミュニケーション	4 名	内部
R7 年 1 月 14 日	権利擁護研修会	4 名	内部
1 月 15 日	衛生推進者養成講習	1 名	外部
1 月 23 日	プライバシー保護の取り組みについて	6 名	内部
2 月 19 日	重層的支援体制整備事業について	6 名	外部
3 月 17 日	宮城県災害ケースマネジメント研修	1 名	内部
月１回	業務改善会議　管理者会議	１名	内部
不定期	ケースカンファレンス	6 名	内部

（４）実習（研修）生等受入れ状況/受け入れなし。

（５）利用実績

介護度	延人数	
	６年度	５年度
要支援１	１２	８０
要支援２	５４	０
要介護１	７６５	７８７
要介護２	６９７	５６１
要介護３	４１４	５８１
要介護４	５４０	４８８
要介護５	２２５	２７６
合　計	２，７０７	２，７７３

❻南三陸町ヘルパーセンターまごころ（居宅介護・重度訪問介護）

＊障害福祉サービス事業

・第 1 回、2 回指定障害福祉サービス事業者集団指導参加。

・高次機能障害研修会に参加し職員間で情報共有しながらサービス提供に努めた。

・対象者 1 名について 65 歳を機に介護保険に移行した。

《利用実績》

障害区分	延人数	
	６年度	５年度
知的障害	１４３	１７３
精神障害	７５	１４４
合　　計	２１８	３１７

❼訪問介護事業介護保険外サービス事業　　＊令和６年度利用はなし。

事業報告の附属明細書

令和６年度事業報告の内容に補足する重要な事項がないため、

事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人南三陸町社会福祉協議会